

— 公開日 —

●…公開日

11							12						
B・S	月・M	火・T	水・W	木・T	金・F	土・S	B・S	月・M	火・T	水・W	木・T	金・F	土・S
28	29	30	31	1	2	3	25	26	27	28	29	30	1
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
25	26	27	28	29	30	1	23	24	25	26	27	28	29
							30	31	1	2	3	4	5

2019/1							2						
B・S	月・M	火・T	水・W	木・T	金・F	土・S	B・S	月・M	火・T	水・W	木・T	金・F	土・S
30	31	1	2	3	4	5	27	28	29	30	31	1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31	1	2	24	25	26	27	28	1	2

同時開催 展覧会

想起の力で未来を ホセ・マリア・シンシア「アクシデントという名の国」福島 冬の花より

2019年2月24日(日)まで開催中

場所: 国立国会図書館国際子ども図書館 レンガ棟3階ホール/ラウンジ

※休館日、開館時間等は図書館の開館スケジュールに順じます。

【歴史的文化的資源活用プログラム】

京成電鉄株式会社と東京藝術大学の協働により、「旧博物館動物園駅」駅舎の一部を公開し、歴史的建築物の魅力を伝える展示等を行います。主催: 上野文化の杜新構想実行委員会/アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

平成30年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業



※お問い合わせ: 上野文化の杜新構想実行委員会 TEL:03-5834-2396

Organizers: Implementation Committee for New Concept "Ueno, a Global Capital of Culture" Arts Council Tokyo (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)

This project is supported by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan in the fiscal year 2018.

Inquiry: Implementation Committee for New Concept "Ueno, a Global Capital of Culture" TEL:03-5834-2396

上野文化の杜新構想実行委員会

東京国立博物館/国立科学博物館/国立西洋美術館/東京文化会館/
恩賜上野動物園/上野の森美術館/東京藝術大学/学校法人上野学園/
上野観光連盟/東日本旅客鉄道株式会社/京成電鉄株式会社/東京地下鉄株式会社

Implementation Committee for New Concept "Ueno, a Global Capital of Culture"

Tokyo National Museum/National Museum of Nature and science/The National Museum of Western Art/Tokyo Bunka Kaikan/Ueno Zoological Gardens/
The Ueno Royal museum/Tokyo University of the Arts/Ueno Gakuen Educational Foundation Ueno Tourism Federation/East Japan Railway Company/
Keisei Electric Railway Co., Ltd./Tokyo Metro Co., Ltd

<https://uenoyes.ueno-bunka.jp/>

UENOYES

BALLOON
DAYS 2018

#2



旧博物館動物園駅の公開と展示

アナウサギを追いかけて

Former Hakubutsukan-Dōbutsuen
Station building Open to the Public

Wandering into the Rabbit Hole.

2018 11/23(金・祝) ~ 2019 2/24(日)までの
金・土・日 11:00-16:00 (最終入場は15:30まで)
(Last admission at 15:30)

※12/28(金)・29(土)・30(日)は除く。詳しい日程は裏表紙をご確認ください。

During the 3-day weekend from 2018.Nov.23(Fri) to 2019.Feb.24(Sun) 11:00-16:00

※Excluding Dec.28(Fri)29(Sat)30(Sun)

場所:

旧博物館動物園駅 駅舎
(東京都台東区上野公園13番地23号)

Site:

Former Hakubutsukan-Dōbutsuen
Station building
13-23 Ueno-park,Taito-ku,Tokyo

※プログラムは変更となる場合がございます。Program is subject to change.

※会場の都合により、入場制限させていただく場合がございます。また、京成電鉄施設のため、鉄道業務に関する緊急の事態には作品が鑑賞いただけない場合がございます。詳細はUENOYES公式ウェブサイトをご覧ください。

※We may restrict the number of persons having access due to the capacity of the venue. This is a facility of Keisei Electric Railway, so the exhibition may become inaccessible in an emergency situation connected with railway operation. Programs are subject to change. Please see our official website for changes made, time schedule and the reservation process.

入場無料
Admission Free

上野文化の杜新構想実行委員会とアーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)は社会包摂をテーマにしたプロジェクト「UENOYES(ウエノイエス)」として、「旧博物館動物園駅」の一般公開に合わせ、期間限定のインスタレーション作品を展示します。

本作は上野のリーサーを基にした物語を読み解きながら鑑賞するインスタレーションです。演出家の羊屋白玉が駅にまつわる歴史や国立科学博物館と恩賜上野動物園をリサーチし、その情報や印象を元にオリジナルストーリーを新たに書き下ろしました。また、舞台美術を手がけるサカタアキコと国立科学博物館研究員・森健人が手がけた動物のお面や3D骨格標本を展示し、目の見えない方/見えにくい方など誰もが触れて体感できる新作のインスタレーション・展示プログラムとなっています。会期中は、動物のお面をつけた案内人が来場者をお迎えしたり、障害の有無によらず展示を楽しめる各種ガイドツアーを実施するなど、インクルーシブアートプロジェクトUENOYESならではの空間構成と演出を展開します。

旧博物館動物園駅について

1933年12月京成電鉄の駅として開業。当時、駅舎の建設予定地が御料地であったため、御前会議での昭和天皇の勅裁を受けての建設となりました。こうした事情が考慮されてか、駅舎内外の意匠は西洋風の荘厳なつくりとなっています。開業以後、東京皇室博物館(現・東京国立博物館)や恩賜上野動物園の最寄り駅として利用されてきましたが、利用者の減少により、1997年に営業休止、2004年に廃止となりました。2018年4月19日(木)付で、鉄道施設として初めて、特に景観上重要な歴史的価値をもつ建造物として「東京都選定歴史建造物」に選定されています。京成電鉄株式会社では、歴史的価値が認められたことを契機として改修工事を実施し、補修や清掃を行うほか、昨年6月に国立大学法人東京藝術大学との連携協定により、同学の美術学部長でありUENOYES総合プロデューサーの日比野克彦がデザインした出入口扉を新設します。駅舎が位置する一帯は、上野文化の杜新構想において、周辺地域と上野公園をつなぐポイント「アート・クロス」として、上野エリアにおける新たな文化拠点を目指します。

The Implementation Committee for New Concept "Ueno, a Global Capital of Culture" and Arts Council Tokyo (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture), as part of the UENOYES project, whose theme is social inclusion, will exhibit installation pieces for a limited time, accompanying the opening of the to the general public.

About the Former Hakubutsukan-Dōbutsuen Station

The station opened in December, 1933, as part of the Keisei Electric Railway. At the time, because the planned construction site for the station building was part of the Imperial estate, construction was sanctioned by Emperor Showa at the Imperial Council. Perhaps taking these circumstances into consideration, both the interior and exterior design of the station building were done in a grand Western style. Since its opening, it had been used as the nearest station to the Tokyo Imperial Household Museum (now the Tokyo National Museum) and Ueno Zoo, but due to a decline in users, it was shut down in 2004. However, in 2018, it was designated as a Selected Historical Building by the Tokyo Metropolitan Government, being a building of historical value, important to the surrounding scenery. The entire region in which the station building is located is expected to play the role of a new cultural base in the Ueno area, as an "art crossing" connecting Yanaka, Nezu, Sendagi, Nippori, and Ueno Park.



©2018 Kent Mori

©TOBIU CAMP 2018

©[Diving into Tokyo./絵・サカタアキコ]

Events

① 旧博物館動物園駅の公開トーク

参加アーティストやプロジェクトに関わった専門家や地域の方々とのトークイベント

日時◎2018年11月24日(土) 11:00-11:50

場所◎上野公園水上音楽堂(東京都台東区上野公園5-20)

司会◎日比野克彦(UENOYES総合プロデューサー)

登壇者◎羊屋白玉、サカタアキコ、森健人、森徹(上野の杜芸術フォーラム代表)ほか

参加費◎無料

② 触れる鑑賞ツアー

目の見えない/見えにくい方も参加できる、パフォーマーによるガイドツアーです。(監修:羊屋白玉、森健人)

日時◎公開日全日 11:00- / 12:00- / 14:00- / 15:00-

定員◎各回10名 ※要事前申込 申込はこちらから⇒<https://goo.gl/D52rzR>

参加費◎無料

※車椅子ご利用者向けの鑑賞案内は、会場の都合により毎週金曜日13時(祝日を除く)に開催します。

参加ご希望の方は事前にお問い合わせ下さい。→ toiawase@ueno-bunka.jp



Map



Artists & Resercher

羊屋 白玉 (演出) Shirotama HITSUJIYA (Direction and Text)

[指輪ホテル]芸術監督、劇作家、演出家、俳優。2001年同時多発テロのさなか、ニューヨークと東京をブロードバンドで繋いだ作品以降、海外公演が続く。越後妻有アートトリエンナーレ、札幌国際芸術祭など、国内での芸術祭では、都市や自然の中で土地の方々と協働しサイトスペシフィックな作品を発表。アジアと女性と舞台芸術の通奏低音を担うべく、亜女会を設立。『ニューズウィーク』日本版の「世界が認めた日本女性100人」に選ばれる。

サカタ アキコ (美術) Akiko SAKATA (Production Designer)

造形作家。1992年武蔵野美術学園彫塑科在学中より「指輪ホテル」美術を担当。2010年動物モチーフを中心としたオーダーメイドブランド「DIET CHICKEN」始動。「アサクサコレクション2013」では手描きの鯉の衣装を製作、小島ケイタニラ作曲指揮のマーチング鯉バンドを結成し浅草の町を行進した。トクマルシューゴ主催「TONOFON FESTIVAL2010~2017」ではコラボグッズを製作。

森 健人 (技術協力) Kent MORI (Supporting Researcher)

国立科学博物館・動物研究部 支援研究員理学博士。2015年東京大学大学院理学系研究科にてラッコの股関節に関する論文で博士号を取得。現在はフォトグラメトリーによる博物館自然史標本の3Dモデル化とその活用をテーマに研究している。なお、本展作品の一部は、JSPS科研費JP17K12967の助成を受けた研究の一環であり、成果の一部である。